

交際相手からの暴力(デートDV)についての意識 実態アンケート調査結果報告(概要)

本調査は、「千葉県DV防止・支援基本計画」の計画期間が平成27年度で終了することに伴い、若者のデートDVについての意識や経験、暴力の考え方等の実態を調査し、デートDVを未然に防ぐための普及啓発や若者からのDV相談体制の充実についての取り組みを考察し次期計画の内容に反映させることを目的として実施しました。

| | |
|-------|--|
| 調査の対象 | 千葉市内高等学校2校 1～3学年 |
| 調査の方法 | 高等学校各教室において調査票及び封筒を一人一部ずつ配布する。 記入した調査票を各自が封筒に入れ、教室にて回収する。 |
| 調査期間 | 平成26年9月～平成26年12月 |
| 回収の状況 | 有効回答数 1,775件 |

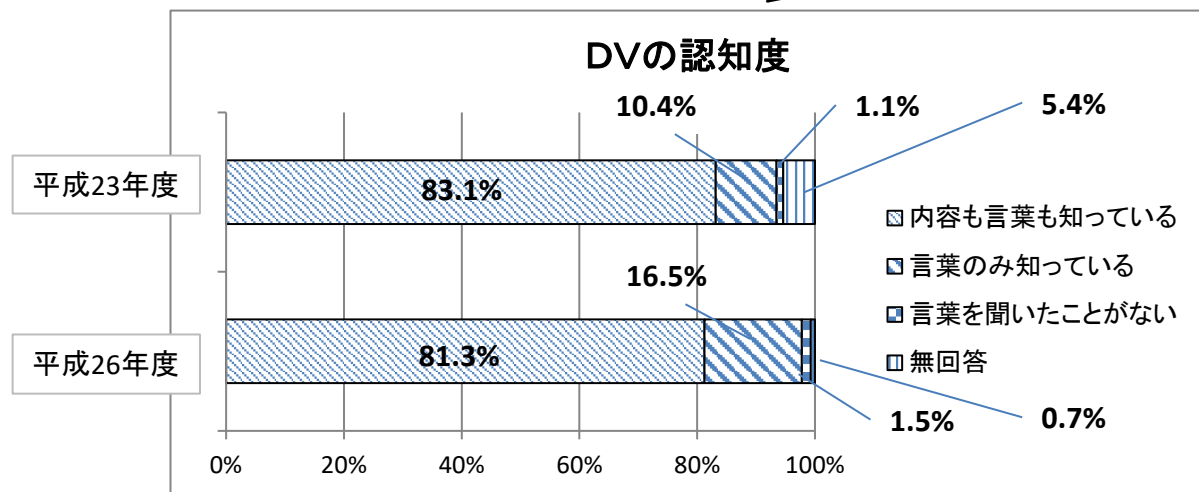
対象者の属性

| 区分 | 男 | 女 | 無回答 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-------|
| 1年生 | 285 | 312 | 3 | 600 |
| 2年生 | 296 | 250 | 3 | 549 |
| 3年生 | 298 | 323 | 5 | 626 |
| 合計 | 879 | 885 | 11 | 1,775 |

問3 あなたは今までに「DV(ドメスティックバイオレンス)」という言葉を知っていましたか？

| 区分 | H26年度 | H23年度 |
|-------------|-------|-------|
| 内容も言葉も知っている | 1,442 | 1,585 |
| 言葉のみ知っている | 293 | 198 |
| 言葉を聞いたことがない | 27 | 21 |
| 無回答 | 13 | 103 |
| 合計 | 1,775 | 1,907 |

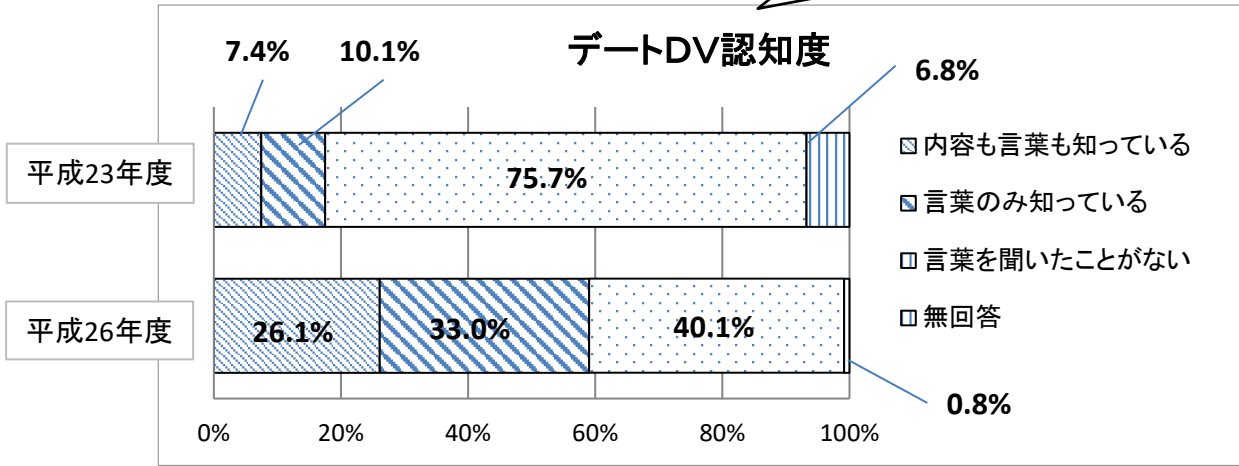
平成23年度と平成26年度で、「内容も言葉も知っている」の割合はさほど変化は見られないが、「言葉のみ知っている」を加えた「言葉があることを知っている」割合は、97.8%に達している。



問4 あなたは今までに「デートDV」という言葉を知っていましたか？

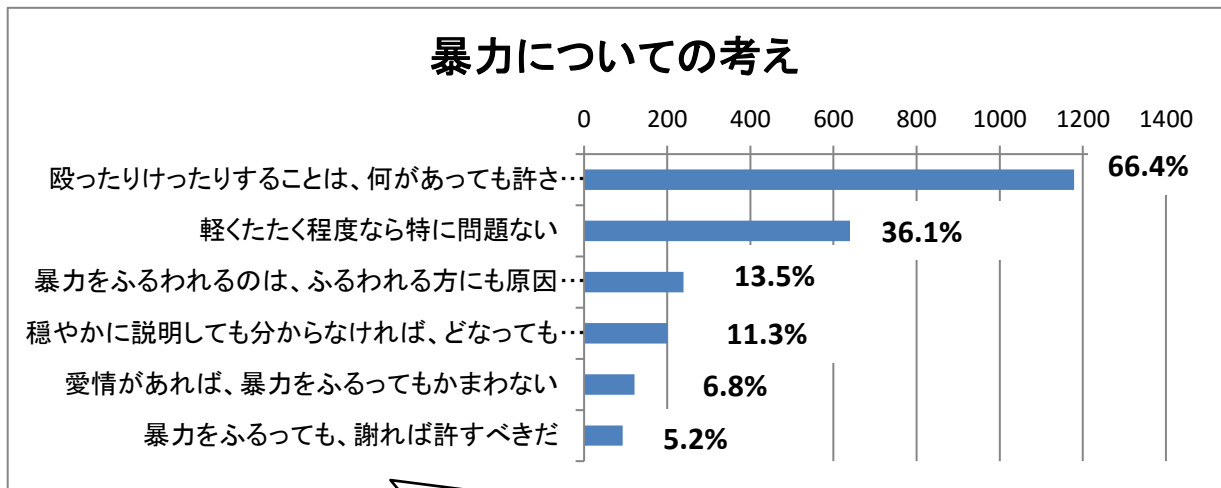
| 区分 | H26年度 | H23年度 |
|-------------|-------|-------|
| 内容も言葉も知っている | 463 | 142 |
| 言葉のみ知っている | 585 | 192 |
| 言葉を聞いたことがない | 712 | 1,444 |
| 無回答 | 15 | 129 |
| 合計 | 1,775 | 1,907 |

デートDVの認知度は、DVの認知度よりも低いですが、「内容も言葉も知っている」、「言葉のみ知っている」は大幅に増加しており、「言葉を知っている」割合は約6割に達している。



問6 暴力について、あなたの考えに合うものに○をしてください。(複数回答) n=1,775

| | |
|-----------------------------|-------|
| 殴ったりけったりすることは、何があっても許されない | 1,179 |
| 軽くたく程度なら特に問題ない | 640 |
| 暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも原因があるからだ | 239 |
| 穏やかに説明しても分からなければ、どなってもかまわない | 201 |
| 愛情があれば、暴力をふるってもかまわない | 121 |
| 暴力をふるっても、謝れば許すべきだ | 93 |



「軽くたく程度なら特に問題ない」と回答した生徒が約4割。「愛情があれば暴力をふるってもかまわない」と回答した生徒が121人(6.8%)など、若者の間に暴力を容認する考えを持つ者が一定以上いることがうかがえる。

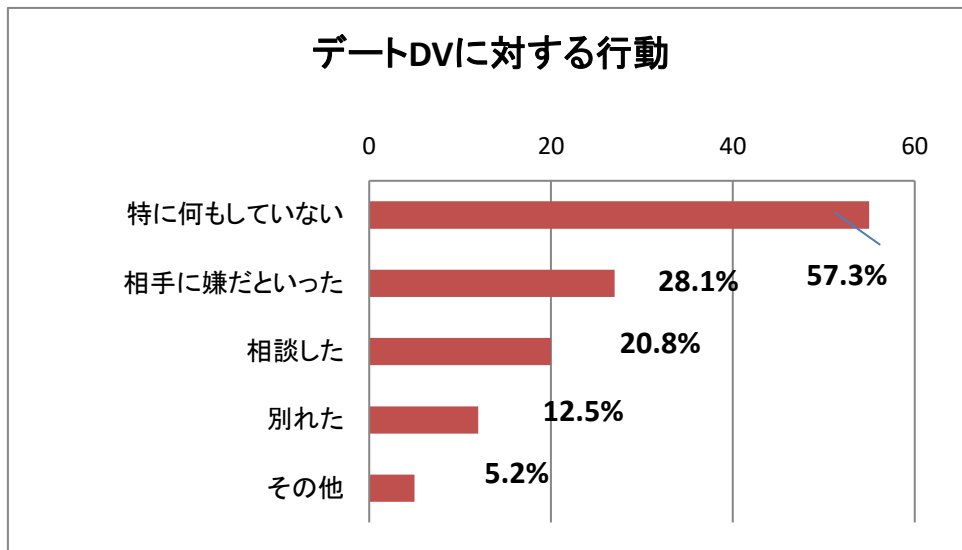
問8 あなたは、以下のような行為をされたり、したり、あるいは自分のまわりで見聞きしたことがありますか？(複数回答)n=1,775

| | 見たり聞いたりした | したかもしれない | されたかもしれない |
|------------------------|-------------|-----------|-----------|
| たたく、ける、物を投げる | (214人)12.1% | (40人)2.3% | (47人)2.6% |
| バカにしたり、傷つく言葉を言う、大声でどなる | (242人)13.6% | (61人)3.4% | (54人)3.0% |
| メールのチェックや友達づきあいを制限する | (282人)15.9% | (19人)1.1% | (45人)2.5% |
| 性的な行為を無理やりする | (124人)7.0% | (10人)0.6% | (21人)1.2% |
| デートの費用やお金を無理やり出させる | (101人)5.7% | (6人)0.3% | (8人)0.5% |
| その他 | (25人)1.4% | (5人)0.3% | (2人)0.1% |

「デートDVをされたかもしれない」の中では、「たたく、ける、物を投げる」の身体的暴力のほか、「バカにしたり、傷つく言葉を言う、大声でどなる」や「メールのチェックや友達づきあいを制限する」といった精神的暴力が大半であった。

問11(1) デートDVをされたかもしれないと回答した方への質問
あなたは、そのことに対して、何かしてみましたか？(複数回答)n=96

| | |
|-----------|----|
| 特に何もしていない | 55 |
| 相手に嫌だといった | 27 |
| 相談した | 20 |
| 別れた | 12 |
| その他 | 5 |

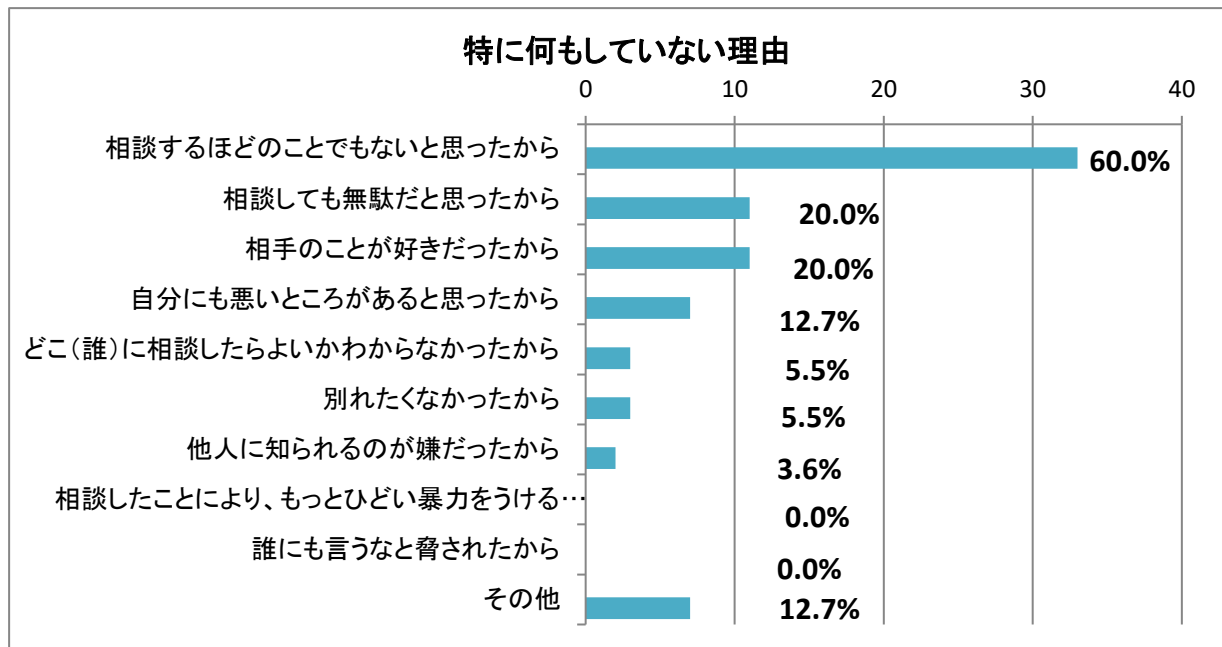


「特に何もしていない」が最も多かったが、「相手に嫌だといった」や「相談した」など、行動に移した生徒もいたことがわかった。

問11(3) 上記(1)で「特に何もしていない」と回答した方への質問

それはなぜですか？(複数回答)n=55

| | |
|------------------------------|----|
| 相談するほどのことでもないと思ったから | 33 |
| 相談しても無駄だと思ったから | 11 |
| 相手のことが好きだったから | 11 |
| 自分にも悪いところがあると思ったから | 7 |
| どこ(誰)に相談したらよいかわからなかったから | 3 |
| 別れなくなかったから | 3 |
| 他人に知られるのが嫌だったから | 2 |
| 相談したことにより、もっとひどい暴力をうけると思ったから | 0 |
| 誰にも言うなと脅されたから | 0 |
| その他 | 7 |



「相談するほどのことでもないと思ったから」が6割と最も多く、「相談しても無駄だと思ったから」、「他人に知られるのが嫌だったから」などの理由が多かった。

問11(2) 上記(1)で相談したと回答した方へ、誰に相談しましたか？(複数回答)n=20

| | |
|------|----|
| 友達 | 16 |
| 親 | 4 |
| 先生 | 4 |
| 相談機関 | 0 |
| その他 | 1 |

相談先では「友達」が最も多く、相談機関に相談したものは0人であり、平成23年度の調査と同様の結果であった

